

はぐたちの宝もん

平泉寺保育所の皆さんが、平泉寺坊
の石敷道を見学。大仏たぐさんの石
敷にピククリしたようです。



広報

10

かつやま

'91

10/10

№437

発行 福井県勝山市 編集 秘書広報課
〒911 福井県勝山市元町1丁目1-1
TEL 0779-88-1111 FAX 88-1119

保健特集

40歳からの健康週間 10月10日～10月16日



▲日ごろから検診を受ける習慣を—成人病検診で

40歳は成人病年齢

「四十歳」というと、あなたは何を思い浮かべますか。「実年」ともいわれ、家庭の中心となり、社会的にも働き盛りとなる年代です。

ところが、からだの方は、視力や体力が衰えたり、ガンや高血圧などの成人病が増える年齢でもあります。

いわば四十歳は、成人病年齢の始まりなのです。若いころからの生活習慣などを今一度見直し、チェックをかけていくことがたいせつです。

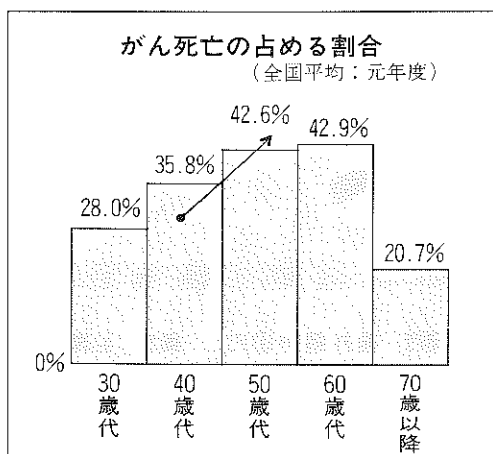
働き盛りに多いガン

四十歳代で、特に注意が必要なのはガンです。ガンで死亡する人は、毎年増え続けています。全国的には、昭和五十六年にそれまで死亡原因の第一位であった脳卒中を追い越し、ガンが死亡原因の一位となっています。

勝山市でもガンによる死亡が一番多く、全死亡者の二三・九%を占めています。

年一回必ず受診

市では、満四十歳に達した人に対し成人病検診の案内通知をしています。今年、「四十歳検診」を受けた人は、七十三人でした。実に該当者の一五・三%に過ぎません。受けない理由には「会社で受けるから」が多いようですが、胸部レントゲンしかとっていない人もいるのではないのでしょうか。自分の健康チェックのため、検診はしっかり受けましょう。



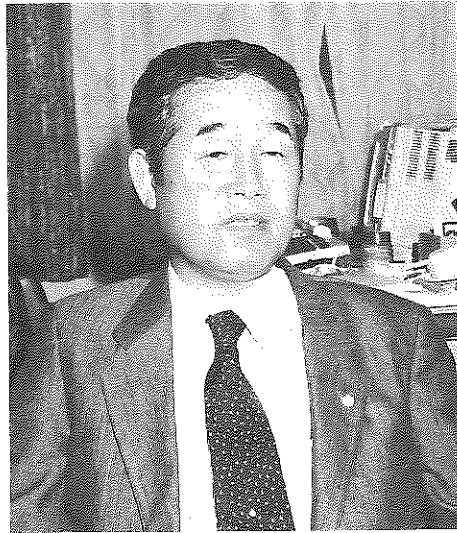
ガンで死んでほしくない

勝山保健所所長 大森正弘さん

ガンが死因のトップとなって十年になります。二位の心臓病、三位の脳卒中との差は開く一方です。

老人保健法による成人病検診の受診者は増えてきており、喜ばしいことですが、残念なことに、この検診にはガン検診が含まれていません。

四人に一人強が、ガン死であるにもかかわらず「まさか自分が」という気持ちでどうしてもなくならないのは困ったことです。ガン検診の受診者は、あまり増加していません。男性は、五十歳代から六十歳代にかけて、女性は、三十歳代から六十歳代にかけて、死因の半数近くが、ガンで死亡しています。心身ともに最も充実したこの年代の死



は大変なことです。

ガン検診を受けない理由を聞くと、「どこも悪くないから」とか「この年でまだ大丈夫……」という返事が多く返ってきます。身近にガンで亡くなった人があると、ガン検診の受診が期待できるかもしれません。しかし、ガン死の心身の苦しさを聞きたくない人に、検診を受けさせるためには、もう話し合いしかありません。

最近、医学の進歩もすすみ、ガンも早期であれば治癒するようになりました。そして、ガンの告知を希望する人も増えてきました。尊厳死やホスピスに関する考え方や意見を聞く機会も多くなりました。高齢化社会は、急速にすすんでおり、ガン死が増えている現実をもっと深刻に考えてほしいと思います。

成人病検診のお知らせ

今年度の成人病検診は、10月21日で最後となります。まだ受けていない人は、ぜひこの機会に受診されるようお知らせします。

日程は、次のとおりです。

- 10月16日(水) 午前9時から11時
平泉寺生活センター
- 10月16日(水) 午後1時30分から3時
荒土公民館
- 10月21日(月) 午前9時から11時
午後1時30分から3時
教育福祉会館

ガン検診について
くわしくは保健衛生課(☎88-1111
内線303番)へ。

健康の大切さを痛感

三 鶯 春 子 さん 北 市

十年前、「高島地区健康を守る会」のすすめで、大腸検診(便潜血反応検査)を受け、その結果、便に血が混じっているといわれ、その二年後手術をしました。

手術までの二年間は、忙しくてつい様子を見ていただけでした。痔病の人と症状が同じなので、あまり気にもしていませんでした。しかし、出血も少しあり身体がだるくなり、どうしようかと思っているころ、再度、検診で「痔だと思っても、もう一度医者に診てもらったら」とすすめられ、診察を受けた結果、すぐ手術となりました。もう数日遅れたら手遅れになっていたとあとで聞かされ、ほんとうに驚きました。細胞検査で、悪性でないことがわかり、とても良かったです。

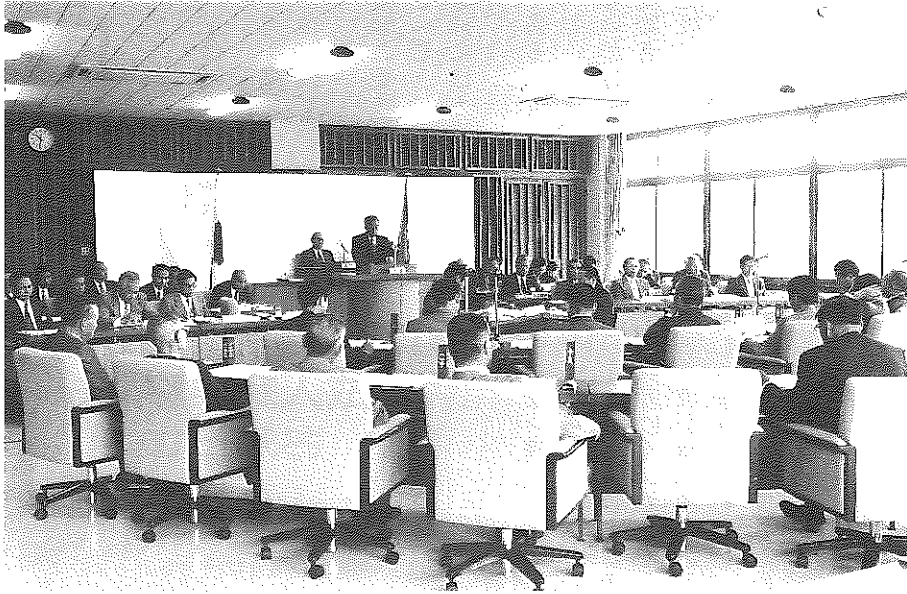


家族で一人でも病気になる、本人も苦しいのですが、家族が困ることになります。若いから、元気だからと、検診を受けない人がいますが、家族のことを考えて、ぜひ受けてほしいと思います。地区で行われる検診、例えば「健康を守る会」のように、みんなで誘い合って受ける検診が、いちばん受けやすいと思います。

わたしは、手術して初めて健康がいちばんだと思いました。それからは家族にも検診は必ず受けてもらい、私も検診を受けています。そして今、地域の人といっしょに、どんな仕事でもできる幸せを感じています。

議会報告 9月定例会

一般会計 9億600万円を追加
ふれあい会館・ふるさと森林館を建設



▲提案理由を説明する今井市長

九月定例会市議会は九月十二日から会期十五日間で開会されました。一般会計補正予算案などの議案十八件、認定一件、意見書二件を可決、陳情七件を採択して九月二十六日閉会しました。一般質問は、十七日、十九日の二日間行われ、嶋田政憲議員ら十議員が質問(要旨は別途掲載)をしました。

決まった主な内容

◎三年度九月補正予算
一般会計で九億六千万円余を追加

一般会計で九億六千二百八十八万八千円を増額して、総額百二十四億三千九百五十六万九千円としました。

主な内訳は、「ふれあい会館建設事業」に九千六百三十万円。これは県総合保養地域整備推進事業として、勝山温泉センターの敷地内に木造二階建て(約四百五十平方メートル)の会館を建設するものです。

次に、県補助事業で「ふるさと森林館(仮称)」を暮見地区に建設。その事業費が六千三百五十万円。館内には、山林文化の振興のための木工教室や山菜料理教室、視聴覚室などが配置される予定です。基金への積み立てとして、「恐竜のまちづくり構想基金」に一億円、「土地開発基金」に一億二千二百万円、「財政調整基金」に七千一十七万円。そして、地域福祉の充実を図るために新たに「福祉基金」を制定し五千五百万円を積み立てました。地元企業への振興策として中小企業振興対策資金貸付金

に一億円を増額預託しました。そのほか一般道路・水路改良などに九千九百九十万円、市単独土地改良事業補助金千九百円を増額しました。

特別会計は、六会計で一千六百四十九万八千円を減額し、総額を五十三億六千八百八十四万四千円としました。

◎勝山市土地開発基金条例の一部改正
条例中、基金の額を「二億円」から「三億二千二百万円」としました。

◎勝山市福祉基金条例の制定
在宅福祉の向上など、地域福祉活動の推進のため制定し、積立金の額を五千五百万円としました。

◎市立図書館設置条例の一部改正について
図書館の移転新築に伴い、所在地を「元町一丁目五番六号」から「昭和町一丁目七番二八号」に改めました。

◎市立図書館新築工事請負変更契約の締結について
工事費を四百八十八万一千八百円増額し、八億三千五百三十九万一千八百円としました。

◎意見書二件を提出
「第八次治水事業五箇年計画における二十兆円満額確保に関する意見書」
「治山事業の促進に関する意見書」

◎採択された陳情
・比島区内の市道編入二件
・林道栃俣谷線の舗装について
・上水道建設について(比島区)
・特養老人ホーム「さくら荘」の増設に対する支援について
・農業集落排水事業(汚水処理施設)(栃神谷区)の整備について
・高齢者保健福祉施設建設に対する支援について

◎公平委員に
中村龍公さん(70) 立川町一丁目。任期満了に伴う再任に同意しました。

◎固定資産評価審査委員に
近藤平之助さん(77) 伊知地。任期満了に伴う再任に同意しました。

◎監査委員に
水上晟さん(69) 細野口。市議会議員の中からの委員として選任に同意しました。

◎収入役に
諏訪芳郎さん(61) 立川町一丁目。竹内仁さんの任期満了に伴う選任に同意しました。

特別委員会の設置・敬称略

【下水道建設特別委員会】

◎委員長 嶋田政憲、◎副委員長 松井拓夫、岩見寿信、野尻佐太郎、佐々木隆也、近藤栄治、上山弥栄

【地域産業振興対策特別委員会】

◎委員長 上山留治、◎副委員長 斎藤節治、北山謙治、竹内久三、川村音一、横山定衛、広田与三次郎、水上晟

【道路交通対策特別委員会】

◎委員長 斎藤貞夫、◎副委員長 藤沢七郎兵衛、酒井義博、辻一敏、乾吉一、武内盛直、西出敏

【法恩寺山リゾート開発推進特別委員会】

◎委員長 広田与三次郎、◎副委員長 辻一敏、ほか全議員で構成

九月定例会

一般質問 (要旨)

一般質問は、九月十七日、十九日に行われ、嶋田政憲、近藤栄治、野尻佐太郎、佐々木隆也、酒井義博、松井拓夫、藤沢七郎兵衛、斎藤節治、竹内久三、岩見寿信の各議員がそれぞれ質問しました。

勝山病院

改革に伴う市の対応について

嶋田政憲議員①名誉市民である故多田清氏の勝山市に対する功績は大きいものがある。市民あげて顕彰すべきと思うが、市長の考えを問う。

市長①故多田翁の崇高な郷土愛に満ちたお姿と、その偉大なる功績を子々孫々に継承させなければと強く感じている。早い時期に多田翁の功績に対し、顕彰のあり方、方法などを議会と協議しながらすすめていきたい。

嶋田議員②社会保険勝山病院の移転改築について、地域住民の理解の上で適当な場所を考えていくべき。市としての考えを問う。

市長②移転問題については病院から協力の要望がきている。昭和三十八年当時比べ、患者数も四、五倍になり非常に手狭になってきており、医療設備の更新や導入も困難となっている。

嶋田議員③高齢者福祉サービスの充実に関し、現在、二つの社会福祉法人から施設増設の要望があると聞くが、市の対応について問う。

また、国がすすめる「高齢者十カ年戦略」については、どのように対応していくのか。市長③寝たきりや痴呆性のお年寄りを抱えるかたがたから、特別養護老人ホームの拡充の要望が多い。現在、二つの法人から特別養護老人ホームの増床と新設の計画が出され、県、および市に陳情されている。

しかし、県下で毎年一、二カ所の配分しかなく、さらに奥越地区の充足率が県下でも高いため、非常に難しい状況と聞いているが、県・関係機関へ要望していく。

「十カ年戦略」については、来年度に向け十分検討しながら計画に乗っていききたい。福祉事務所長④施設の新・増設については、今後とも要望している福祉法人と十分な話をしていく。

◎市職員の新規採用は二十五歳までとなっているが、Uターン者採用の考えはないか。市長①個々の資質にあった職務への配置は極めて重要と考える。行政事務は、適正な人員配置と職員の率先垂範の心が大きく求められている。今後とも、適正な人事管理による活力ある職場づくりと、市民サービスの向上に努めていく。

◎新規採用の年齢引き上げについては、他市の状況や市内企業への影響などを考え検討したい。秘書広報課長①職員の意欲増大については、民間研修への派遣などで対応している。また、日常業務の中で提案制度を設け職員の意欲増大に努めている。

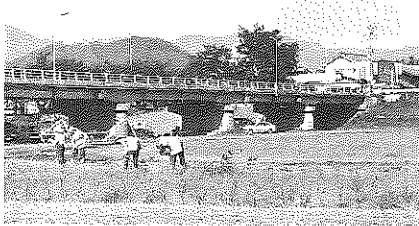
近藤議員③ボランティアの役割は大きい。しかし、かなり無理な要望もあるようだ。依頼者側に甘えの姿勢があるのではないか。市長③安易にボランティアを依頼したり、経済的な甘えは厳に慎むべきと考える。市民一人ひとりが何かボランティア活動をしていただけるような地域福祉のネットワークづくりをすすめていく。

近藤議員④都市公園が荒れている。管理はその地区に委ねているというが、多少無理

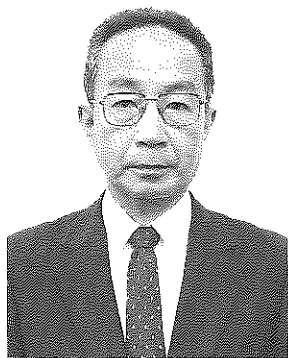
手狭になり移転改築を要望している社会保険勝山病院



弁天緑地公園



収入役に 諏訪芳郎さん



昭和29年勝山公民館書記、社会教育課長、人事課長、総務課長を歴任。昭和63年9月、市役所退職。前勝山公民館嘱託館長。昭和5年7月生まれ、立川町1丁目3-48。

都市公園の管理について

近藤栄治議員①市役所職員の勤務体制と意欲増大について問う。

(次ページへ続く)

があるようだ。対応を問う。
また、河川敷での公衆トイレの設置について問う。

市長①福祉の森構想は、昨年の六月定例会で申し上げ、今年三月に素案を報告させていただいた。国においても、よく似た事業を推奨しているので、早くマスタープランの策定に入りたい。

②恵まれた自然の中で障害を持つかたがたやお年寄りが集い、ふれあうために介護支援、介護技術の勉強の場、高齢化対策実践の場、さらにボランテニア活動など地域福祉活動推進のために役立つ機能を持たせていきたい。

福祉事務所長①ヘルパーの研修には一級から三級まであり、一級は常勤ヘルパー、二級は施設への委託ヘルパー、三級は家事介護の登録ヘルパーが対象である。一級については完了し、以下についても随時実施していく。

また、社会福祉協議会、保健所、介護家族の会などの協力で、市内六カ所介護教室を実施している。

現在、常勤ヘルパーは五人、パート二人、さくら荘への委託ヘルパー一人、登録ヘルパーが五人いる。現状ではまだ少くないので、各小学校下に一人の登録ヘルパーをお願いしていく。

野尻議員③福祉の森構想の用地を土地開発基金で先行取得できないか。

企画開発課長③構想のマスタープランが作成され、見通しの立った段階で基金の運用を考える。

野尻議員④先の小笠原公三〇〇年祭記念行事では、多くの小・中学、高校生の参加があり、尊い経験ができたと思う。このイベントを後年にもどのように残していくのか。人づくりにどのように役立てていくのか問う。

市長④五月の記念式典をはじめ、各種の記念行事を実施してきた。小笠原公の残した文化遺産を次の世代に伝承すべしと考える。

第三次総合振興計画では、精神文化の里として位置づけ、小笠原礼法の手引書を発行し、礼節を重んじるまちとして広くアピールしていきたいと考えている。

平成四年には、法恩寺山・芳野原リゾートのスキー場オープン、平泉寺白山神社三十三式年大祭、越前勝山城の完成などがあり、これらを含めて国立公園昇格三十周年記念行事の準備をはじめたとる。

今後、観光都市として発展していくためには、既存の祭を保存・育成しながら新しいイベントを通して地域の活性化と人づくりをすすめていく。

生涯学習課長④まちづくりと人づくりにおいて、八月に小笠原記念展を開催した。過去の歴史の上に現在が成り立っ

ていることをアピールした。今後、貴重な資料などの保存に努め、機会あるごとに発表していきたい。

現在、元禄線の築造工事を実施しており、バイパス工事には相当の期間がかかるようなので、県と十分協議しながら現河川の部分改修整備を図っていく。

沢区、下袋田区から要望があった洪水対策として、新たに沢区に放水路を新設できないか検討しているところ。

今後とも県に対し強く対策を要望していき、地域住民の安全確保に努めていく。

都市建設課長①沢区での放水路計画は、市役所前を通る四号水路の増水分を分水して、一部保川へ流し込むものだ。

県土木と協議し、今年調査した上で来年には着工させたいと考えている。

②川の勾配を変えることは、災害を引き起こすこともあり難しい。ただ、長淵付近での土砂さらいや、橋のかさ上げ工事を検討している。

都市景観、環境条例の制定について

酒井議員①観光都市を目指していく中で、看板とか建築物などで景観を壊すおそれがある

市として、都市景観、環境条例を制定する考えはないか。

大蓮寺川の改修について

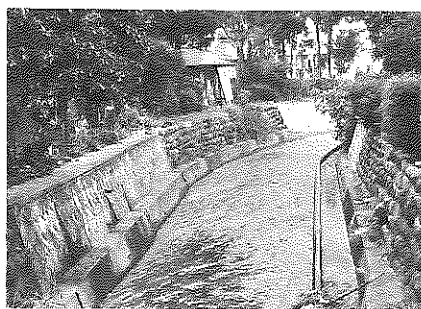
佐々木隆也議員①大蓮寺川の改修について問う。用地や家屋移転などで改修困難と聞いているが、増水時に床下浸水するなど地元民は困っている。市民に納得いく答弁をしていただきたい。

市長①現河川の改修には、川幅の三倍近くの用地が必要となり、相当数の物件移転、それに工事期間がかかり、改修は不可能となっている。

したがって、昭和六十一年から大蓮寺川バイパス計画を検討しており、昨年度までに県単独事業で調査した。平成三年度は、国の補助で調査している。内容は、事業計画、環境調査、水利模型実験など行った上で、地元説明に入る予定。



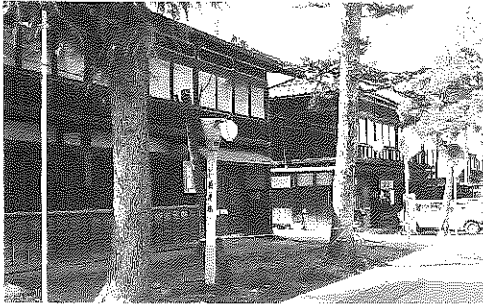
▲在宅福祉の充実に必要不可欠となっているボランティア活動



▲改修が迫られている大蓮寺川長淵付近

福祉の森構想について

野尻佐太郎議員①福祉の森構想について、次の二点を問う。
①在宅福祉の充実においてホームヘルパーの身分制度の確立と研修の必要性について。また、人員について。
②地域福祉活動の推進について。



▲急がれる
市街地の町並み整備

②市街地の町並みのあり方について問う。

市長①現時点においても越前大仏や平泉寺への観光客が増加しつつあり、さらにリゾート事業が完成することですます観光都市化することが予想される。

ご指摘の条例の制定については、前向きで検討していく。

②市街地の整備については、現在、(株)日本アブライ

リサーチ研究所に市街地活性化の構想策定を依頼している。

また、商工会議所の市街地活性化委員会でも取り組まれていると聞いているので、第三次総合振興計画とも併せ、市街地の整備を図っていきたい。

在宅、

地域福祉

について

松井拓夫議員①福祉対策について、次の点を問う。

①在宅福祉、地域福祉に対する考え方を問う。

②福祉基金の活用計画について問う。

市長①福祉施策を推進していく基本としては、生活上ハンディのある障害を持つ方がたがた、お年寄り、子供たちがすべての人々といっしょに明るく「ともに生きる人づくり・まちづくり」をすすめていく。

在宅福祉については、国の十カ年戦略(ゴールドプラン)における在宅三本柱は特に大事と考えている。

まず、ホームヘルプサービスの面では、これからも登録委託ヘルパーを増やしていく。ショートステイは、さくら荘で今回四床増やして十床にしていた。

デイ・サービスは、現在百九十三人が登録し、二週間に一回利用されているが、今後回数と重度介護型へ拡充していきたい。

地域福祉については、社会福祉協議会活動を通じて「福祉のまちづくり」事業をすす

めている。さらに自治省の「地域福祉推進特別対策事業」などを活用し、福祉センターなどの施設整備、福祉基金の運用益金による小地域の福祉活動に援助していきたい。

福祉事務所長②福祉基金は、ふるさと創生の福祉版といえるもの。積み立てた元本を運用し、利息収入を地域福祉施策の財源に充てていく。

年利六パーセントであれば年間三百三十万円となる。この予算化については、平成四年度当初予算の編成までに関係のかたがたの意見を聞きながら、地域の福祉活動の活性化につながるものにしていきたい。

松井拓夫議員③幼稚園児数や小・中学校の児童、生徒数は減少傾向にあり問題となっている。その推移はどうか。

④地域の伝承文化などに空き教室を利用したらどうか、考えを問う。

⑤児童・生徒数の減少に伴い教職員の動向について問う。

教育長③全国的に少子時代といわれ、当市においても急速に児童・生徒数が減少している。現在、小学校十校で二千二百八十六人だが、五年前と比べ約二百五十人減っている。中学校は、千二百四十九人で、五年前に比べ約二百四十人の減である。幼稚園でも同じことがいえる。この傾向

は今後も続くようだ。

④空き教室の利用については、成器南小学校の三クラスが年によって二クラスになることと、野向小学校で複式化の時間がくる程度で、あとは一学級の児童・生徒数が減ってくるものと考えられる。

したがって、校舎、教室の状況には大きな変化はないが、成器西小学校では空き教室を学年集会活動など多目的に活用している。

逆に成器南小、村岡小では、世帯増で、将来教室不足が起り得る。

幼稚園は、成器南幼稚園以外は余裕があり、多様な活動に利用している。

幼稚園、保育所の一本化については、園児の減少により合理的な統合を検討する時代に入っていると考える。

⑤児童・生徒数の減少に伴う教職員の動向について、教育委員会としては、学級定数四十人をさらに減らし、学級を増やし、教職員の増を希望している。登校拒否など個々の児童・生徒の問題に対応できる教職員の配置を念願し要望している。

個々の子どもに即した教育、基本的な生活習慣、社会参加への指導などに苦心しながら努力している。難しい時代における学校教師の働きにご理解願いたい。

長尾山の開発構想について

藤沢七郎兵衛議員①長尾山開発について、次の点を問う。

①開発構想について

②開発の予算について

③着工と完成時期について

④今年度の計画と調査内容について

市長①構想としては、スポーツ・レクリエーションおよび文化交流施設を核とした住宅、高等教育、研究施設など多様な機能を配置。さらに緑豊かな環境の整備を図る計画である。

全体面積は百四十ヘクタールで、その内、主なものは総合運動公園約三十五ヘクタール、恐竜公園約十ヘクタールなどである。

②予算的には、平成三年度に千四百万円の調査費で基本調査(A調査)を実施している。全体の事業費は、概算で百億円ほど必要と思われる。

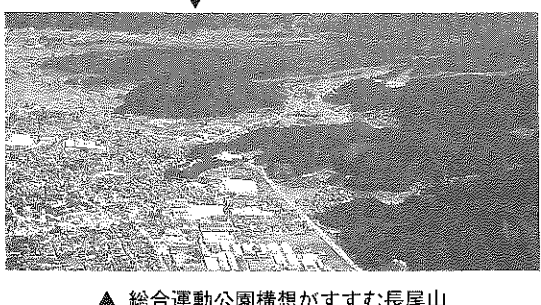
③着工時期などについては、基本調査をもとに地元説明に入る予定だが、相当の年月が必要と考える。

④今後、基本調査(A調査)を検討して実施計画調査(B調査)に入る。

(次ページへ続く)



▲入所措置およびデイ・サービス、ショートステイ(短期保護)の拠点、特別養護老人ホーム「さくら荘」



▲総合運動公園構想がすむ長尾山

藤沢議員⑤本構想の窓口となる主管課はどこか。また、開発のための協議会などの設置について、考えを問う。

都市建設課長⑥都市建設課が担当する。事業推進方法として、買取方式と土地区画整理方式の両面で検討している。地元のかたがたとの話し合いの中で決めていきたい。

藤沢議員⑦地権者はどのくらいいるのか。また、区画整理の場合の減歩はどのくらいになるのか。

都市建設課長⑧四百十人の地権者がいる。区画整理だと公園や公共施設などでかなりの用地提供が必要となる。

藤沢議員⑨敷地内に福祉・医療施設も含めた構想は考えられないか。

市長⑩地域内での福祉・医療施設の配置についても十分検討していきたい。

市 長⑪恐竜のまちづくりについては、基金制度によって用地取得や発掘作業道の整

備、商標登録、キャラクターの設定などを行ってきた。民間機関の恐竜研究会でも恐竜教室やセミナーを開催していただいている。

恐竜公園については、県を通じ、公園内に国立の恐竜博物館および関連する研究施設の誘致を要望している。場所についても、国・県と協議しながらすすめている。

齋藤議員⑫高齢者の占める地域ほど、足としてバスが必要。市営バスの運行と増便について。また、地元負担金を基金で運用できないか、問う。

市長⑬生活路線バスの運行については、毎年利用率が低下し、国の補助対象外の北谷線は、地元負担金をお願いして運行している。

地元からは市営バスの運行、地元負担金への改善策の陳情および増便の要望をいただいている。これらについて、他の市の実施状況なども調査研究し検討しているが、得策がない現状である。

市営バス運行については、安全対策、万一の事故に対する補償問題、維持管理の問題がある。また、基金を設定し、その運用益金を地元負担金に充てたらどうかという点については、ほかの路線との関わりがある。

今後、これらの問題も含めて、市内の全路線について全

面的な見直しが必要と考えている。

齋藤議員⑭入所希望の多い特別養護老人ホームの増設について問う。

市長⑮老人ホームの増設は必要と認識している。ただ、増床か、新設にするかである。いずれにしても地域の在宅福祉にプラスとなるものであってほしいと考えている。

齋藤議員⑯山林が荒れているがその対策は。スギ、ヒノキの盗木や山林への廃棄物投棄などの対策を問う。

市長⑰森林資源の充実と有効な活用は、重要な施策と考える。

その対応策として、収益性悪化については造林事業への補助、森林組合の育成強化、林道や作業道の整備拡充、国産材の流通体制の整備、森林ふれあい事業がある。

ソフト面では、最近問題となっている山林内の不法投棄、樹木の盗難についても横の連絡を密にしながら林道入り口でのしり断機設置にも取り組んでいく。

井市に近い場所にとの考えがある。その中で、市としては中部縦貫自動車道の開通を見越して、長尾山を考えている。

発掘地には、子どもたちが研究・研修ができるような施設を考えている。

左義長会館の建設について

竹内久三議員⑱第三次総合振興計画・中期五カ年計画の具休策として、次の点を問う。

- ①防災面における大蓮寺川の改修について。
- ②五カ年計画に入っていないが、左義長会館の概要と建設場所について問う。
- ③歴史資料の保存と景観都市のビジョンづくりを早急に。
- ④総合運動公園への取り組みについて。
- ⑤福祉と健康づくりについて。

市長⑲①改修計画については、元禄線地下のバイパス計画が長期となるため、まず、その応急策を実施していく。

都市建設課長⑲①バイパス計画は、元禄線の地下を二本のめがね式水路で元町派出所付近から直接九頭竜川へ通す。元禄線での物件移転ができ次第着工したい。

応急策として、沢区での放水路を早くできるように要望し

ていく。

市長⑳奥越リゾート開発構想の中で、市街地および周辺地域を「歴史都市」をテーマに整備していく計画。今後、リゾート事業によって観光客が増大し、市街地に膨大な波及効果が期待できる。これらに対応し、地域の特性を生かした「観光資料会館」の建設を計画している。

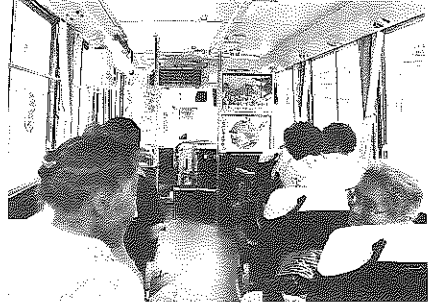
左義長まつりは、市を代表する伝統行事である。この会館で、つつみ押し絵や行灯、作り物の展示、そして常設舞台ではやしの披露もできるようにしたい。

そのほか、「繊維資料館」の建設や駐車場、公衆トイレなどの設置を検討し、商店街の振興に努めていく。

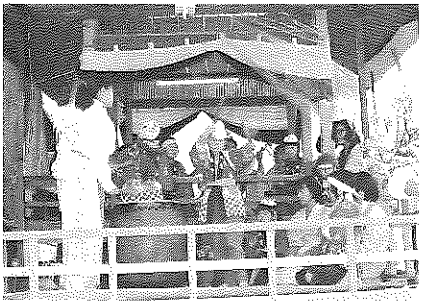
③現在、市街地の活性化プランを委託しているところ。また、商工会議所での市街地活性化委員会でも検討されていると聞いている。これらを集大成し、市民のコンセンサスを得ながら歴史遺産、文化遺産を生かしたまちづくりに努力する。

生涯学習課長⑳中期五カ年計画では、歴史的文化遺産の資料の収集・保存を図っていく。

企画開発課長㉑景観都市づくりなどを実践する機関として、百人委員会（仮称）の準備をすすめている。委員は、



▲全面的な見直しが必要となつてきている過疎バス対策



▲伝統行事の保存・育成に左義長会館建設を



▲観光客増大に対応できる
ゴミ対策を

広く公募したり推薦などで構成。より多くの人から意見を聞き、推進していく。

市長④総合運動公園は、二十年前に「緑のマスタープラン」で示された。若者が利用できる施設の要望も多い。精力的にすすめていく。

福祉事務所長⑤中期計画の福祉面では、老人デイ・サービスセンター、介護支援センター、ケアハウスがある。いずれも福祉法人に設置をお願いしたため、関係のわたがたの理解と協力を得たい。

福祉センターの設置については、地域に密着した行政サービスと社会福祉協議会、ボランティアなどの福祉活動の場、高齢者の社会参加、いきがいの場として考えている。

保健衛生課長⑥保健センター

は、平成六年、七年の建設計画を持っている。これは、市民への保健指導と病気予防、食生活の改善、健康教室の拠点として位置づけている。

竹内議員⑦公立と私立保育園の職員では賃金や定年年齢に格差がある。財政的な支援ができないか。

週休二日制は、どのように指導しているか問う。

福祉事務所長⑧私立保育園には、対象幼児の約六〇パーセントをお願いしている。保母職員約百三十人のうち、私立は約八十人だ。

処遇については、勤務時間、給与などかなり異なる。これは雇用体系の相違や国の給与基準によるもので、市としては、県の指導を得ながら、国へ勤務条件、民間給与の改善を求めていく。

時短、週休二日制への財政的支援については、今後調査研究しながら私立保育園とも協議していきたい。

観光都市に向けて そのゴミ処理対策 について

岩見寿信議員①ゴミ処理対策について問う。今後、観光客によるゴミ増大を不安視する市民も多い。官民一体となつたゴミ対策が必要ではないか。

市長の考えを問う。

市長①当市のゴミ処理は分別収集を極め細かく行い、二つの施設で対処している。観光客によるゴミの増加は、処理施設の建設時に予測して対応している。予想を超えた場合は協議、検討しなければならぬ。

観光都市を目指す中で、市街地の美化については、住民と行政が一体となって取り組むべきと考えている。

保健衛生課長②河川への不法投棄に対しては、監視、指導していく。年一回の市内一斉清掃デーを年二回にしていることも考えたい。

岩見議員③高齢者福祉対策について問う。高齢者の意識、実態調査を実施し、夢のある高齢者対策が必要。市独自のプランを聞く。また、各課が行う事業を一本化した高齢者総合対策室設置の考えはないか。

市長④昨年六月、老人福祉法など八法が成立した。平成五年から県と各市町村が老人保健福祉計画を策定していく。こうした計画策定に際して、広く意見を取り入れてすすめていきたい。

ご指摘の点についても、関係各位の英知を集めて良い方向にすすめたい。

岩見議員⑤観光都市の実現には、施設面だけでなく人づ

くり、人材育成も重要だ。市長の考えを問う。

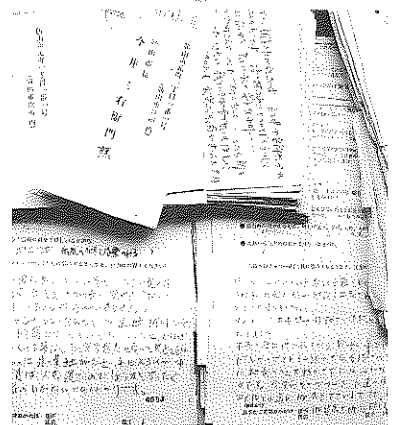
市長③当市には、観光資源と伝統行事が豊富にあるが、残念ながら通過型である。リゾート事業は、通年型・滞在型の観光地となり、その波及効果に期待している。

今年の小笠原公記念行事の殿様行列では、大せいの子どもや若者の参加があり、核となる人づくりとなった。今後、人材の育成に努めていく。

第三次総合振興計画の中でも、こうした記念イベントをきっかけに観光都市勝山をアピールする飛躍の年としている。

特に、来年は白山国立公園昇格三十周年記念や平泉寺白山神社三十三式年大祭、越前勝山城の完成、大仏開眼五周年などがあり、市民とともにふれあいの広がる総合イベントを計画したい。

市長へのメッセージ 400人から返答



▲寄せられた市長へのメッセージ

当市は今年九月一日に市制施行三十七周年目を迎えました。そこで、九月を市民提案月間とし、アンケート調査と市長あてのメッセージ事業を実施させていただきました。

無作為に選ばせていただいた千人のかたに、九月一日付で、メッセージ用紙を送付し、現在、集計途中ですが四百通近くのメッセージをいただきました。深く感謝申し上げます。

すべてのメッセージに目を通しながら、ご返事の必要なものについては、各自へ差し上げる準備をすすめています。また、市民全般にかかることについては広報紙などでお知らせしていきたいと思ひます。

そのほか、封書やハガキで直接メッセージを寄せていただいたかたもたくさんおられます。内容も建設的なご意見、郷土を思う気持ちなどが伝わってくるようなものばかりでした。

これら皆さんからの貴重なご意見・ご要望に対しては今後の市政推進に十分反映していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

勝山市長

集計途中ですが、寄せられたメッセージの内容別では、行政一般七十三件、議会九件、道路関係二十八件、リゾート四十九件、税金九件、産業三十七件、施設整備四十一件、福祉三十四件、交通十三件、結婚十件、環境十六件、教育文化十八件、観光・イメージアップ二十件などです。

次号の広報から、アンケート結果やご意見を紹介していきます。予定です。

広報紙への掲載記事についても、百十項目にわたって要望をいただきました。皆さんからの要望・アイデアを今後の広報紙づくりの参考にさせていただきます。



▲岩永勝彦さん（県美展審査委員）を囲んで講評会を開く
勝山美術クラブの皆さん

勝山美術クラブは昭和五十年に発足。それまでは市内には洋画部門の活動の場がなく、現会長の嶋田彰夫さん（郡町二）ら数人の仲間が呼び掛けて発足させました。

現在、会員は十四人。市内の会社員や主婦、教員、自営業など職業も年齢もまちまちです。でも美術に対する情熱は人一倍という人たちがばかり。

クラブの特色は、一人ひとりの個性を尊重し、具象画、抽象画、立体造形などジャンルを問わず幅広い作品づくりを目指しています。

活動としては例会を行い、静物や人物のスケッチを勉強したり、作品を講評し合ったりにしています。仕上げた作品は、毎年八月と十一月の二回作品展を開催。夏期作品展に

われら仲間



絵画教室で幅広い活動を

勝山美術クラブ

今月号は、初心者向けの絵画教室

を開くなど、幅広い活動を目指す

「勝山美術クラブ」の皆さんを紹介
します。

は、県美展審査委員（一陽会
会員）の岩永勝彦さんを招
いて、講評会を併せて実施し
ています。

今年、八月に市民会館で
作品展を開催し、会員から三
十数点の作品が寄せられまし
た。

会長の嶋田さんは「会員の
中には各種美術展で入選、入
賞するなど、技術は年々上が
っている。個展を開く会員も
出てきており、今後、もっと
市民の中に入った活動もして
いきたいと思っている。今年
から開く絵画教室もそのひと
つ。ぜひ、多くのかたに参加
してほしい」と話しています。

「絵画教室」を 開きます

同クラブでは、生涯学習活
動のひとつになればと、初心
者を対象にした「絵画教室」
を開きます。

内容は、油絵、水彩画、ス
ケッチなどの指導です。

日程は、毎月第二、四日曜
日の午後から、会場は教育福
祉会館クラブ研修室。受講料
は無料です。

関心のあるかたは、勝山美
術クラブ事務局の嶋田彰夫さん
（☎87-0238）へ連絡す
るか、直接、教室会場で申し
込んでください。

郷土人物史

63

清陽丹を 創製した

山内仁平

仁平は、旧北谷村、嘉右衛
門の弟で江戸中期安永のころ
伊勢の国・菰野（こもの）村に
住んで新炭を商っていた。

仁平は、身長六尺余りの大
男で力も強く近在に並ぶもの
がなかった。しかも、仁狭心
があり、強きをくじき弱きを
助けて世を渡った人であった
という。

当時、菰野村地方は風俗が
乱れたところで、殊に賭博
（とばく）の盛んなところだ
った。弱い者は常に強くよこ
しまな者にしいたげられ、財
物を奪われることも少なくな
かった。また、賭博の親分が
いて、村人をいやおうなしに

呼び出し、博奕（ばくえき）
の仲間にさせていた。土地の
医者道庵の息子もその仲間
になっていた。

仁平はこのことを聞くと、
黙っているわけにはいかなか
った。さっそく、山を降りて
親分のところへ乗り込み、腕
力だねい伏せこの村から追放
した。

村人はもちろんのこと、医
者の道庵もたいへん喜んだ。
そして、仁平が越前の勝山へ
帰るようになったとき、道庵
は、一幅の巻物と仏像一体を
仁平に渡した。これが清陽丹
の処方と神農薬王像であった。
山内家では、以来清陽丹を
家伝薬とし、神農薬王像を家
の祭神として毎日崇拜してい
る。

仁平の孫にあたる六郎は、
これも律儀正しく謹直で小笠
原藩の仲間として仕えていた。
藩主長守も清陽丹を愛用さ
れ、たびたび山内家へこられ
た。六郎は長守から「書幅」
「花鳥幅」さらに短刀をいた
だいている。

（文化財保護委員長
黒田悌三）

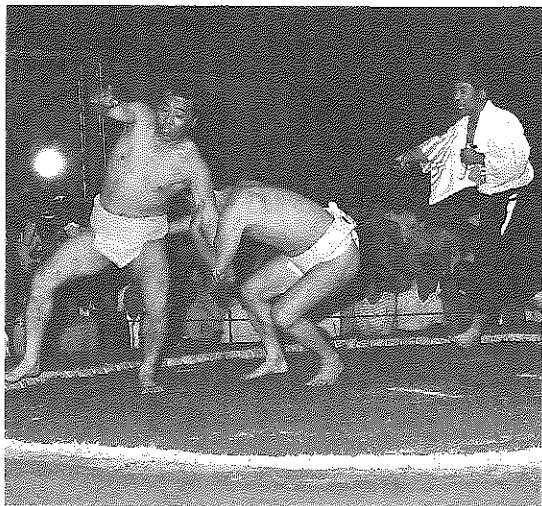


▲写真は神農薬王

小笠原公300年祭記念

再現 御前角力

相撲甚句・しよつきり相撲



▲禁じ手をユーモラスに表現した「しよつきり相撲」

話題を 追って

このコーナーは、市政および地域の話題などを紹介しています。皆さんからの話題提供をお願いします。
連絡は秘書広報課広報係
88-1111内線225番へ。

九月十八日、小笠原公三〇〇年記念行事として、「御前角力(すもう)」が、神明神社境内で約三十数年ぶりに再現されました。
午前七時、境内相撲場には県内招待選手や地元選手ら約五十人が勢揃いし、まず、齋藤貞夫相撲連盟会長のあいさつ、今井市長、広田与三次郎市議会議長らが選手たちを激励しました。
最初、清水嘉夫さん(59)「牛ヶ谷」の相撲甚句や相撲

手らと地元選手による対抗相撲、役相撲などが繰り広げられ、夜遅くまで歓声があがっていました。
御前角力は、江戸元禄期、小笠原公が入封した際、八幡宮(当時、城の東側にあつた)の祭りに領内の年少者を集めて力を競ったのがはじまり。その後神明宮に移り、加賀能登からの雇い力士を擁する宮方と地元力士の寄方に分かれ、技と力を競い合いました。御前角力は、戦後も続けられ、二十三年前からは地区対抗相撲大会として続けられています。



◀自慢のノドで「相撲甚句」



▶市役所前をスタート

第23回 地区対抗相撲大会

団体は野向 個人は木村義文さん

伝統行事「地区対抗相撲大会」は九月十八日、午後一時半から神明神社境内で行われ、八地区から十四チーム、約六十人が出場。熱心な相撲ファンや地区応援団らが土俵を囲み盛んな声援を送っていました。

第37回市内駅伝競走大会

村岡地区初優勝

秋の恒例行事、市内駅伝競走大会は、九月二十二日(日)、市内周回コースで行われました。大会には、市内九地区から選手・役員ら約二百人が参加。今年初めて市民グループ「チャマゴン楽走会」のオープン参加がありました。

午前十二時、市役所前スタート。十チームが、十二区間

結果は、次のとおりでした。
敬称略

①野向(吉元禎、水野忠範、山内則人)

②鹿谷(川原和久、竹内崇治、松浦武司)

③勝山A(春木智之、佐々木宏一、黄倉義光)

④木村義文(平泉寺)、⑤笠松徳雄(荒土)、⑥吉元禎(野向)、⑦水野忠範(野向)

入賞▽木下栄治(北郷)、酒井

三十五・一キロで健脚を競い合い、その結果、十一区からトップに立った村岡地区が初優勝しました。

【地区対抗】

①村岡地区 2時間8分55秒

②鹿谷地区 2時間10分51秒

③勝山地区 2時間11分10秒

④荒土地地区 2時間15分50秒

⑤平泉寺地区 2時間16分55秒

⑥北郷地区 2時間21分38秒

⑦野向地区 2時間22分04秒

⑧猪野瀬地区 2時間24分58秒

⑨遅羽地区 2時間28分10秒

楽走会 2時間27分16秒

【区間賞】

敬称略

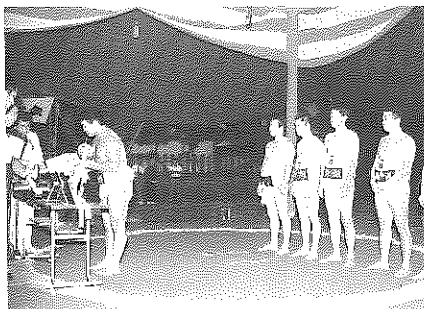
第一区間(3.0キロ) 鳥山理恵(勝山) 10分10秒

第二区間(2.6キロ) 織田友和(村岡) 8分26秒

第三区間(2.4キロ) 有島英孝(勝山) 8分57秒

第四区間(2.5キロ) 大林祐治(平泉寺) 8分09秒

第五区間(1.9キロ) 知土由美恵(野向) 6分17秒



▶地区対抗相撲大会表彰式で

雅信(遅羽) 川原和久(鹿谷)、春木智之(勝山)

第六区間(2.0キロ) 掃山健司(村岡) 6分55秒

第七区間(3.6キロ) 西野武裕(村岡) 13分49秒

第八区間(4.8キロ) 小林貴仁(北郷) 15分07秒

第九区間(1.7キロ) 小倉 学(村岡) 5分19秒

第十区間(3.2キロ) 小倉 進(村岡) 12分02秒

第十一区間(3.0キロ) 小山博成(鹿谷) 10分31秒

第十二区間(4.4キロ) 松原義紀(村岡) 14分35秒



▲働くことへのチャレンジ

健康で働く意欲のある 高齢者を求めています

(社)勝山市シルバー人材センター

シルバー人材センターが、発足して二年半が経過しました。その間、市や各企業、一般家庭の協力を得ながら、着実に実績を伸ばしています。現在、登録会員数は二百七十七人、契約金額は三千四百六十九万四となり、発足時の三倍近くの事業実績となっております。

十月一日から十月三十一日までを「シルバー人材センター普及啓発月間」とし、参加の輪を広げようをテーマに県下で運動がすすめられています。当センターも、各地区連絡員の協力を得ながら新会員の加入運動を行っています。

センターへの登録は、市内に住み、おおむね六十歳以上の人が対象です。健康で意欲があれば、どなたでも会員になれます。

《入会の申し込み》

◎入会方法は

窓口で、入会申し込みと同時に年会費一、〇〇〇円を納入すれば、会員として登録されます。

◎仕事をするには

あらかじめ、自分の希望する仕事を登録しておき、センターから連絡を受け、仕事をします。

◎報酬は

自分が従事した仕事に応じ、センターから配分金として収入が得られます。

◎その他

受け取られる配分金は厚生年金の支給減額の対象にはなりません。

《事業主、一般家庭の方へ》

高齢者に適した仕事は何でもご相談ください。短時間、短期間の仕事でもけっこうです。いつでも気軽にご相談ください。

事務所移転のお知らせ

シルバー人材センターの事務局は、九月から市民会館一階事務所に移転しました。

☎88-11111・内線315
☎88-11881(直通)

秋の行政相談週間10月12日～19日

ご存じですか行政相談委員制度

●要望や苦情があれば：

毎日の暮らしの中で、道路や河川の整備、環境衛生など、市役所の仕事に対し苦情や要望、意見はありませんか。

「直接は言にくい」、「どこへ相談したらいいのかわからない」というかたも少なくありません。そんなかたは、行政相談委員に申し出てはいかがでしょうか。

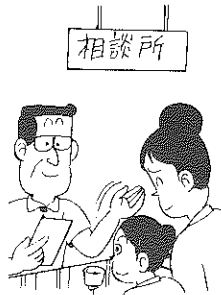
行政相談委員は、公的機関が行っている仕事に対する苦情や要望、意見を住民から受け、問題解決の促進を図る、

いわば行政とのパイプ役です。勝山市には、横山茂男相談委員(元町二丁目)がおられます。お気軽にご相談ください。

定例相談は

毎月第三水曜日です

定例相談は、毎月第三水曜日、午前10時から午後三時、教育福祉会館で開設しています。そのほか公民館での巡回相談があります。日程については広報紙や回覧文書でお知らせしています。



【第Ⅲ次平泉寺坊跡発掘調査】

発掘調査説明会



▶今年確認された石敷道

教育委員会では市民の皆さんを対象に、次の日程で現地説明会を実施します。駐車場は市営駐車場をご利用ください。

日時▶11月9日(土)

午後2時から3時30分

11月10日(日)

午前10時30分から正午

(雨天の場合は中止)

場所▶平泉寺・発掘現場

● 勤労婦人センター後期講座日程 ●

講座名	期間	時間	定員	教材費	講師(敬称略)
ヨガ (男性受講可)	11/11~3/19 毎週月曜日	午後 7:00~ 8:30	30人	全期 7,000円	フワイヨガクラブ 坪田 豊
コース	11/7~3/19 毎週水曜日	午前 9:30~11:15	30人	全期 3,000円	石畝よしを、 田島和子
大正琴	11/7~3/19 毎週水曜日	午後 1:10~ 2:30	25人	月 2,500円	福井大正琴音楽学院 武善豊治 三宅 正
手編みと手芸	11/7~3/19 毎週水曜日	午前 9:30~11:30	25人	全期 3,500円	編み物講師 山本道子
和紙人形	11/7~3/19 隔週木曜日	午前 9:30~11:30	15人	月 2,500円	和紙人形講師 梅田信子
水墨画 (男性受講可)	11/7~3/19 毎週木曜日	午後 1:30~ 3:30	20人	月 3,000円	日本南画院理事 渡辺悟仙 悟仙社理事 山口光仙
民踊	11/7~3/19 毎週金曜日	午前 9:30~11:30	30人	全期 3,000円	坂東流筒井会 筒井龍房、西村龍愛
茶道	11/7~3/19 毎週木曜日	午後 7:00~ 8:40	15人	月 2,500円	皇風煎茶礼式 龍田光草 江守光信
マジック (男性受講可)	11/13~12/18 毎週水曜日	午後 7:00~ 8:30	15人	月 3,000円	マジック講師 中島昭生
社交ダンス	11/13~12/18 毎週水曜日	午後 7:00~ 8:40	24人	全期 2,000円	県ダンス協会 前川徳雄 ダンス講師 松村 満
冬の漬物づくり	11/19(水) 一日講座	午後 1:30~ 3:30	25人	1,000円	奥越農業改良普及所 東方富美子
パーティ料理	12/8(日) 一日講座	午後 1:30~ 3:30	30人	1,200円	市栄養指導員 村田明子
正月用生け花	12/27(金) 一日講座	午前 9:30~12:00	30人	2,000円	池坊講師 霞田野光房



生活にアクセントを

〔対象〕
市内に住む勤労婦人、若しくは勤労家庭の主婦。
〔申込先〕
10月25日(金)までに勤労婦人センター(☎87-3161)へ保険証・印鑑・教材費を添えてお申し込みください。

一定面積以上の
土地取り引きは
届け出が必要です

国土利用計画法では、一定面積以上の土地を取り引きする場合は、あらかじめ県知事に届けるよう定めています。土地の投機的取り引きや地価の高騰を抑制し、乱開発などを未然に防ぐためです。土地取り引きをされる人は、十分注意してください。

● 届け出の必要な土地取り引き

一定面積以上の土地を売買したり譲渡する場合は、事前に届け出が必要です。

《届け出が必要な土地》

- (イ) 市街化区域
-二、〇〇〇㎡以上
- (ロ) 市街化区域を除く都市計画区域
-五、〇〇〇㎡以上
- (ハ) 都市計画区域以外の区域
-一〇、〇〇〇㎡以上

● 届け出から契約

土地取り引きの契約をする場合は、事前に当事者が予定価格や利用目的を書いた届出書を作成します。届出用紙は、市役所にあります。

土地価格については、毎年四月と十月に公示価格が示されますので、参考にしてください。市役所で閲覧できます。

● もし届け出をしない

届け出をしないで土地取り引きをしたり、偽りの届け出をするると六ヶ月以内の懲役若しくは百万円以下の罰金、また、税法上の特典が受けられなくなる場合があります。十分気をつけてください。

税務相談を電話サービス

☎0776-24-7766

このタックスアンサーシステムは、いつでも電話で税に関する解説を聞くことができます。福井県では十月一日から実施されています。まず、電話をかけて聞きたい内容のコード番号を指定さ

このシステムを利用する場合は、コード表によって聞きたい事項のコード番号を調べ

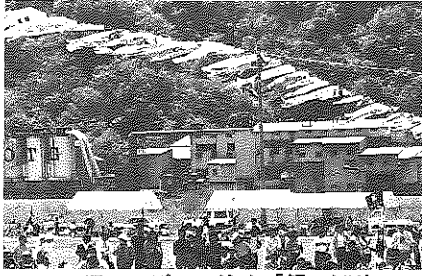
コード表が必要です

このシステムを利用する場合は、コード表によって聞きたい事項のコード番号を調べ

する必要があります。

(例 436 扶養控除)

コード表は、税務署や市役所税務課などで希望者に配布しています。また、十一月発行のNTT「ハローページ」のNTT「ハローページ」の中の「くわしくは大野税務署(☎66-2180)へ。」



▲川幅いっばいに泳ぐ「鯉のぼり」
(今年五月、弁天河原で)

鯉のぼり事業 来年に向け、募集します

今年五月、各家庭に眠っていた約二百匹の「鯉のぼり」が、九頭竜川上空に元氣よく泳ぎ、市民の目を楽しませました。

市では、来年以降もこの事業を続け、二十一世紀を担う子どもたちの健やかな成長を市民みんなで願っていききたいと考えています。

そこで、引き続き、皆さんから使わなくなった鯉のぼり

の寄贈をお願いしていきます。多数のご協力をお願いします。

《募集期間》

平成4年3月31日(火)まで

《申込先》

商工観光課観光係

《鯉のぼり事業》

来年の「子供の日」、九頭竜川弁天緑地で予定しています。皆さんから寄贈された「鯉のぼり」は、市で保管・管理していきます。

くわしくは商工観光課(☎88-1111内線322)へ。

第7回 奥越産業フェア

会場 地場産業センター

日時 11月16日(土)・17日(日)
午前10時～午後5時
会場 (財)奥越地域地場産業振興センター(大仏前)

《主な内容》

- ◇地場産品の総合展示会
- ◇物産・特産品の展示販売
- ◇奥越メード・ファッションショー(16日、午後2時)
- ◇地元アマチュアバンド演奏(17日、午後0時30分)
- ◇江戸家猫八さんのトークショー(17日、午後2時)
- ◇越前染実演・体験コーナー

申込先 図書館事務室(教育)

など
問い合わせは(財)奥越地域地場産業振興センター
(☎88-3700)

「利用者カード」 登録をお早めに

市立図書館

開館前になると、たいへん混み合うことが予想されますので、早めに登録されるようご協力ください。

対象者 ■市内に住民登録のある人および市内へ通勤・通学している人。
申し込み ■平日の毎日、午前九時から午後五時。ただし、土曜日は正午まで。

福祉会館(二階)または各公民館(小・中学生は、学校で申し込んでください)。
問合先 ■市立図書館(☎88-6000)

新・旧大用水の 水止めの お知らせ

農業用水の新・旧大用水が一部改修工事のため、十月十日から十一月下旬まで水が止まります。ご注意ください。

用水へのゴミ投棄は、絶対やめてください。

工事の問い合わせは、農務課(☎88-1111代)

建設工事の入札参加申請 を受け付け

福井県

福井県では、平成四年度の建設工事などにかかる「競争入札参加資格審査申請」の受け付けを行っています。

●申請が必要な業務

建設業、建設関連業(建設コンサルタント、地質調査、建築設計、補償コンサルタント、道路清掃)

●申請の受付期間および場所

県内に本店がある業者

受付期間 10月1日

受付場所 ▽本店所在地のある土木事務所総務課(☎88-1600)

臨時休館(10/22)のお知らせ 温泉センター「水芭蕉」

勝山温泉センター「水芭蕉」は、今年十月で開館一周年を迎え、センター内の貯湯槽清掃およびボイラー、機械関係の一斉保守点検を行います。

そこで、十月二十二日(火)を臨時休館とさせていただきます。ご協力ください。

国民年金だより

“国民年金”を もっと身近に感じて

オを通して、国民年金制度の内容や仕組みについてPR広報を行います。

さらに、各種のイベントも予定しています。ぜひ、この機会に国民年金について分からないことや、聞いてみたいことなどがありましたらお気軽にご相談ください。

担当職員が、親切・迅速・正確をモットーにさわやかな笑顔で、あなたを待っています。

◎国民年金相談所の開設

日時 10月16日(水)

午前10時から午後3時まで
場所 勝山サンプラザ

◎福井県国民年金大会の参加

日時 10月23日(水)

場所 福井県厚生年金会館
正午にマイクロパスが出ます。参加申し込み方法など、くわしくは市民課年金係(☎88-1111内線294)へ。

十月は「国民年金制度推進月間」、そして十一月一日から七日までは「年金週間」です。これは、皆さん一人ひとりが「年金」を身近でたいせつなものとして考えていただき、年金制度のよりいっそうの理解を深めていただくことを目的としています。

この期間中、年金相談所を開設するほか、テレビ、ラジ

市民川柳

アスペンに拍手を贈る秋の宵
矢部幸夫さん 昭和町一
アスピンの音色聴き入る里の秋
島田千代さん 下毛屋
時過ぐを忘れさせたり秋の夕
笠松定子さん 本町一
音楽祭海山越えて手をつなぐ
反保すみ子さん 本町一
音楽の国際化して満ち溢れる
永井はるさん 昭和町一
(題は九月号表紙写真、毎月二十日締め切り)



くらしの 情報

くらしの講座に参加を

勝山市消費者センター

消費者のための「くらしの講座」を次の日程で開講します。お気軽にご参加ください。

《講座日程》下記表のとおり
《会場》教育福祉会館ほか
《申し込み方法》10月25日（金）までに、市消費者センター（企画開発課内 ☎88-1111 内線237番）へ電話で申し込んでください。
《受講料》無料。ただし、実習時の材料費は、実費負担願います。

●くらしの講座日程

日	日	時間	講座内容
11月7日	（木）	午後1時30分～3時30分	開講式 場所：教育福祉会館 「有機野菜・無農薬野菜を考える」
11月8日	（金）	午後1時30分～4時30分	「どうしたらゴミを減らせるか」 「最近の悪質商法の事例」
11月12日	（火）	午後1時30分～4時	「お米を使った楽しい料理」 場所：市民会館
11月14日	（木）	午前8時30分～午後5時	見学研修・教習方面
11月19日	（火）	午後1時30分～4時30分	「マナーについて」 「楽しいファンシー手芸」
11月21日	（木）	午後1時30分～4時20分	「成人病を防ぐために」 「気功にチャレンジ」
12月3日	（火）	午後1時30分～5時	食品添加物の実験 場所：県生活科学センター
12月5日	（木）	午後1時30分～4時	「人生80年を生きていくために」 閉講式

（日程・内容が変更する場合があります。）

全国都道府県対抗中学バレー

県選抜メンバーでアタック

浅見治孝さん（本町三）
西多恵子さん（沢町二）
（勝山中部中三年）

二人は、十二月二十五日から大阪府立体育館で開催される「第五回さわやか杯全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に、福井県選抜チームの一員として出場します。
浅見くんは「ほかのメンバーをみて、レベルの高さを痛感。でも、選ばれた以上しっかりチームのためにがんばりたい」ときっぱり。浅見くんは、百八十四センチとチーム一の長身を生かしたブロック

一方、西さんも「バレーは小学四年生からスポーツ少年団で始めた。最近覚えたバツク攻撃とオープンでチームに貢献したい」と、今から大会を楽しみにしています。
土・日曜日には、福井市の会場まで合同練習に参加するなど、当分バレーボール中心の生活が続くようです。
皆さんもご声援ください。

市内企業の求人情報

（平成3年9月9日現在）

No	職種	求人数	年齢	賃金	勤務先
1	幹部職員	男1人	45～50歳	200,000円～250,000	株式会社 義田
2	販売員(店長見習)	男1人	23～40	150,000～200,000	株式会社 とも
3	プレス加工	不問8人	30～68	110,000～180,000	岩見工業 業田
4	織布工(深夜)	男5人	20～60	220,000～245,000	株式会社 鹿谷 業田
5	雑役	不問2人	40～65	100,000～120,000	株式会社 温泉 上志比村
6	事務員	女1人	18～40	110,000～150,000	株式会社 昭光 明
7	バックヤード作業	不問3人	40歳以下	128,000～160,000	株式会社 吉元 店田
8	ねん糸および整経工	不問5人	30～60	100,000～180,000	マルケイ新 業田
9	食器洗浄	不問4人	35～65	120,000～120,000	株式会社 ナカムラ 業田
10	準備・検査	女3人	20～50	時給600～800	丸江精練 業田 荒土
11	現業職	女3人	18～40	120,000～120,000	株式会社 勝山工場 若野町・荒土

くわしくはハローワーク勝山（大野公共職業安定所勝山出張所 ☎88-1286）若しくは商工観光課（☎88-1111・内線321番）へ。

生活不用品情報

■譲ります（提供品）

スチール机、乳母車、ガラステープル、美顔器、冷風除湿器、冷風扇、自動マッサー、炊飯器、餅つき機、子ども用プランコ、子供学習机、子ども用自転車、婦人用コート、長椅子、電気ストーブ、三輪車、足踏みミシン

乳母車、ベビーサークル、ホームポンプ、ラブチェアー、50ccバイク、子ども用自転車、ピアノ、手押し車、シングルベット、CDラジカセ、ワープロ、石油ストーブ

問合せ先は、市消費者センター（企画開発課内 ☎88-1111 内線237番）へ。

■譲ってください（希望品）

男児用自転車、冷蔵庫、大人用三輪車、婦人用自転車、子ども用二段ベット、二人用

市民カレンダー '91 10/16(水)~11/19(火)

16水	心配ごと相談 10:00~15:00 教育福祉会館 人権・行政・交通事故相談 10:00~15:00 教育福祉会館 社会保険相談 10:00~15:00 勝山商工会館	3日	文化の日 市民総合文化祭 作品展 芸能発表会ほか
17木	機能訓練事業 13:30~16:00 教育福祉会館 中学校連合音楽祭 13:30 市民会館	4月	市民総合文化祭 作品展ほか
18金	結婚相談 10:00~15:00 教育福祉会館 小学校連合音楽祭 13:00 市民会館	5火	
19土	おもと展 ~20日 10:00 勝山サンプラザ	6水	心配ごと相談 10:00~15:00 教育福祉会館 (弁護士による法律相談併設)
20日	家庭の日 推進テーマ「スポーツを楽しみよい本と親しもう」	7木	機能訓練事業 13:30~16:00 教育福祉会館
21月		8金	
22火		9土	勝山青年祭 18:30 教育福祉会館 市役所土曜閉庁
23水	心配ごと相談 10:00~12:00 教育福祉会館	10日	第37回市民体育大会ボウリング競技会 9:30 勝山ボウル 青少年卓球大会 8:30 市営体育館
24木	機能訓練事業 13:30~16:00 教育福祉会館	11月	
25金	1歳半児健康診査(H2・4月生まれ) 教育福祉会館 3歳児健康診査(S63, 10月生まれ) 勝山保健所	12火	
26土	市役所土曜閉庁 市民俳句大会 12:00 教育福祉会館 幼稚園まつり 13:00 市民会館 婦人のつどい 13:00 教育福祉会館	13水	文化講演会 江森陽弘氏 19:00 市民会館 人権・行政巡回相談 13:30~16:00 野向公民館 心配ごと相談 10:00~12:00 教育福祉会館
27日	市民将棋大会 9:00 教育福祉会館 市民川柳大会 12:00 教育福祉会館	14木	機能訓練事業 13:30~16:00 教育福祉会館
28月		15金	結婚相談 10:00~15:00 教育福祉会館
29火	菊花展 ~11/4 10:00 勝山サンプラザ前	16土	親子ファミリーステージ 18:30 市民会館
30水	心配ごと相談 10:00~12:00 教育福祉会館	17日	
31木		18月	
11/1金	結婚相談 10:00~15:00 教育福祉会館	19火	
2土	ウインドアンサンブル定期演奏会 19:00 市民会館 市民総合文化祭 作品展ほか	火災の問い合わせ (テープ吹き込み) ☎88-5100	
<h3>日曜給油当番</h3> <p>10月20日(日) 酒井商店(伊波)、農協(中央)、勝山商事(沢) 大勝(滝波)</p> <p>10月27日(日) 大勝(バイパス)、農協(北)、酒井商店(芳野)、勝山商事(滝波)</p> <p>11月3日(日) 農協(南)、笹木石油(長山)、酒井商店(元町)、三谷石油(勝山)</p> <p>11月10日(日) 勝山商事(小舟渡)、酒井商店(大仏前)、大勝(昭和町)、竹内石油(勝山)</p> <p>11月17日(日) 酒井商店(伊波)、農協(中央)、勝山商事(沢)、大勝(滝波) ()内は給油所名</p>		<h3>休日救急当番医</h3> <p>10月20日(日) 竹下中央内科医院 ☎88-1121</p> <p>10月27日(日) 勝山病院 ☎88-0350</p> <p>●診療時間は午前9時から午後5時までです。</p> <p>11月以降は未定です。市消防署 (☎88-0400) へ問い合わせてください。</p>	

発行 福井県勝山市 編集 秘書広報課 住所 福井県勝山市元町一丁目一番一号 電話(〇七七九)八八一二二二(代)

人口の動き

(9月1日現在の住民基本台帳による)

男 14,735人 (前月比+6人)

女 15,645人 (前月比+9人)

計 30,380人 (前月比+15人)

7,716世帯 (前月比+3)

▼市長のメッセージで、広報への意見も伺いました。掲載希望で、多かつたのは、「今後の勝山のゆくえ」とか「抱えている課題」「企業の紹介などでした。▼変わったところでは「独身者の紹介欄」とか「紙上お見合いコーナー」というものもあり、結婚問題の深刻さを感じさせました。

▼希望項目だけで、およそ百項目にのぼり、すべてに対応したいところです。これからの広報紙づくりに大いに役立てていきたいと考えています。

▼今定例市議会で、四人の新人議員を含め十議員が一般質問に立たれました。その要旨を五ノ九ページで掲載しました。

編集後記

今月の納税
市県民税
三期分
納期限 10月31日(木)